

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準	
				取組指標	成果指標
みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる	【安心できる学校】 ①教育活動の基盤は「安心・安全」であることを常に念頭に置き、安全で安心できる学校体制をつくる。 ②生活指導の充実を基盤として豊かな人間関係を醸成し、自他を大切にすること、正義感や自尊感情・自己有用感、社会貢献意識など人権意識や豊かな人間性、社会性を育てる。	校内支援体制及び相談体制を充実し、児童全員が安心して過ごすことができるよう、組織的にいじめ・不登校の未然防止、早期発見、即時対応に努める。	年3回の「ふれあい月間」等を利用し、全校で定期的ないじめの調査を実施すると共に、児童の自発的・自主的な活動を実施する。 〈主な取組〉 ・学期に1回以上のいじめ対策研修、毎週児童の実態把握と情報共有のための職員打ち合わせ実施 ・スクールカウンセラーによる5年生への全員面接 ・年3回の「いじめアンケート」の実施と聞き取り調査の徹底 ・朝会等でのいじめ防止に関する講話	④ 年度末に、いじめ・不登校を認知し、解消に向けて取り組んでいる教員が100% 3 年度末に、いじめ・不登校を認知し、解消に向けて取り組んでいる教員が90%以上 2 年度末に、いじめ・不登校を認知し、解消に向けて取り組んでいる教員が80%以上 1 年度末に、いじめ・不登校を認知し、解消に向けて取り組んでいる教員が80%未満	④ 児童アンケートで、「学校で安全・安心に過ごせる」と答えた児童が90%以上 3 児童アンケートで、「学校で安全・安心に過ごせる」と答えた児童が80%以上 2 児童アンケートで、「学校で安全・安心に過ごせる」と答えた児童が70%以上 1 児童アンケートで、「学校で安全・安心に過ごせる」と答えた児童が70%未満
			「東光寺スタンダード」の基本的な考え方や実践方法を教職員全員で共通理解し、浸透・徹底を図る。また、保護者会や学校公開、生活指導等りの機会を通じて、東光寺スタンダードの実践を保護者や地域の皆様に向け発信し、地域全体で子供たちのよりよい生活習慣づくりに取り組む。 〈主な取組〉 ・時間の厳守 ・来校者や友達への挨拶の励行 ・脱いだ靴の整理整頓、ゴミ拾い等の励行 ・授業を中心に互いに敬称を付けて名前を呼び合う習慣 ・丁寧な言葉遣い ・地帯を尊重した関わり方の充実 ・計画・代表委員会が中心となった「学校をよりよくするための児童会員の取組」の実践等	④ 東光寺スタンダード実施の自己評価で3以上達成したと答えた教員が90%以上 3 東光寺スタンダード実施の自己評価で3以上達成したと答えた教員が80%以上 2 東光寺スタンダード実施の自己評価で3以上達成したと答えた教員が70%以上 1 東光寺スタンダード実施の自己評価で3以上達成したと答えた教員が70%未満	4 児童アンケートで「学校で自分が大切にされている」と答えた児童が90%以上 ③ 児童アンケートで「学校で自分が大切にされている」と答えた児童が80%以上 2 児童アンケートで「学校で自分が大切にされている」と答えた児童が70%以上 1 児童アンケートで「学校で自分が大切にされている」と答えた児童が70%未満
			校内研究で取り組む算数の指導方法研鑽を中核に、各教科等の授業充実のための取組を推進する 〈主な取組〉 ・算数の授業の指導方法の工夫、日常の授業の充実に取り組む。 ・各教科の授業で児童が発見の喜び、習熟の喜びを実感できるよう指導を工夫する。 ・日々の授業で明確なねらいを設定し、授業を行う習慣を教職員に浸透させる。	④ 明確なねらいを明示して授業を行った教員が90%以上 3 明確なねらいを明示して授業を行った教員が80%以上 2 明確なねらいを明示して授業を行った教員が70%以上 1 明確なねらいを明示して授業を行った教員が70%未満	4 児童アンケートで「授業は分かりやすく、意欲的に取り組むことができた。」と答えた児童が80%以上 ③ 児童アンケートで「授業は分かりやすく、意欲的に取り組むことができた。」と答えた児童が70%以上 2 児童アンケートで「授業は分かりやすく、意欲的に取り組むことができた。」と答えた児童が60%以上 1 児童アンケートで「授業は分かりやすく、意欲的に取り組むことができた。」と答えた児童が60%未満
			児童主体の「安心・安全な学校づくり」の取組を推進する 〈主な取組〉 ・学級活動の充実により思いがけよい学級になるための取組を行う。 ・委員会を中心に児童が主体となった学校をよくするための取組を企画・実践する	④ 特別活動・道徳教育の充実を図った教員が90%以上 3 特別活動・道徳教育の充実を図った教員が80%以上 2 特別活動・道徳教育の充実を図った教員が70%以上 1 特別活動・道徳教育の充実を図った教員が70%未満	4 児童アンケートで「よりよい学級・学校にするために活動できた」と答えた児童が80%以上 ③ 児童アンケートで「よりよい学級・学校にするために活動できた」と答えた児童が70%以上 2 児童アンケートで「よりよい学級・学校にするために活動できた」と答えた児童が60%以上 1 児童アンケートで「よりよい学級・学校にするために活動できた」と答えた児童が60%未満
社会と未来に関き、みんなてつくる	【地域共創】コミュニティ・スクールとして地域と学校との双方向の教育活動を展開し、地域に根ざした学校を目指す。	教育活動全体を通して家庭や地域との連携を図りながら、地域の自然の素晴らしさや生物を育てる喜びを通し、「いのち」の尊さを実感させる。	「いのち」を実感できる体験的な活動や生きる喜びや楽しさを実感できる学習や活動を行う。 〈中心的な活動〉 ・全校「一人一鉢」栽培（高学年は菊、4年生はパンジー、3年生はコスモス、2年はミニトマト、1年はあさがお） ・農業活動の体験を通して「食」への感謝と正しい知識の理解 ・「いのち」をテーマとした道徳授業地区公開講座や学校公開での授業公開 ・「いのち」の大切さを学ぶための体験学習（原保先生・農芸体験者から学ぶ）の充実 ・保護者・地域の方々と共に避難所開設訓練の実施	④ “いのち”の取組を学期に1回以上行った教員が90%以上 3 “いのち”の取組を学期に1回以上行った教員が80%以上 2 “いのち”の取組を学期に1回以上行った教員が70%以上 1 “いのち”の取組を学期に1回以上行った教員が70%未満	④ 自らすすんで植物栽培や農作物の世話、地域の自然を生かした遊びに関わった児童が90%以上 3 自らすすんで植物栽培や農作物の世話、地域の自然を生かした遊びに関わった児童が80%以上 2 自らすすんで植物栽培や農作物の世話、地域の自然を生かした遊びに関わった児童が70%以上 1 自らすすんで植物栽培や農作物の世話、地域の自然を生かした遊びに関わった児童が70%未満
			経験させてもらう学習から、地域に貢献できる活動へと高めていく。開校して現在までお世話になった保護者・地域の方々に感謝と尊敬の念をもたせる。	④ 児童が主体的に地域と関わる学習活動を企画・実践した教員が90%以上 3 児童が主体的に地域と関わる学習活動を企画・実践した教員が80%以上 2 児童が主体的に地域と関わる学習活動を企画・実践した教員が70%以上 1 児童が主体的に地域と関わる学習活動を企画・実践した教員が70%未満	④ 児童アンケートで、「地域の方への感謝を行動に移せた」と答えた児童が80%以上 3 児童アンケートで、「地域の方への感謝を行動に移せた」と答えた児童が70%以上 2 児童アンケートで、「地域の方への感謝を行動に移せた」と答えた児童が60%以上 1 児童アンケートで、「地域の方への感謝を行動に移せた」と答えた児童が60%未満
			地域の協力により、農業体験をはじめとして地域との協働的な学習活動を展開できている。今後は、地域のの方々への感謝を具現化できるよう、児童自身が地域の活動に参加し、主体者として地域の活動に関わる経験を積ませていく。 〈主な取組〉 ・地域と積極的に関わり、子供たちが主体となって考え、発信する活動、地域と共に行う活動、地域に貢献する活動など、双方向の活動を行っていく。		

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。